

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	

企業の概要

企業・団体名	株式会社インテージヘルスケア	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	650名
事業概要	一般用医薬品・医療用医薬品の市場調査、CRO(医薬品開発業務受託機関)など		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則、テレワーク勤務制度規程
テレワーク担当部署	経営企画部 人事・総務グループ
テレワーク対象者	社員、契約社員、在宅社員等
実施者数	300名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

2社合併により2019年4月に新会社が発足しました。合併前の2社(アンテリオ、アスクレップ)ともテレワークの制度を持っていましたが、合併の際には旧2社の制度を統合しました

テレワークの概要・特徴

- ① テレワークの対象は全社員で、個々の上司承認のみで実施可能。回数の制限は設けていません
- ② 全社員がコアタイムの無いフレックスタイム制度の対象者であり、①と組み合わせ利用可能です
- ③ 2018年10月より、全社員にスマートホンを貸与。メールチェック、スケジュール確認などはモバイル環境でも簡便に行うことができます
- ④ 2019年8月の新就業管理システム導入に合わせて、事業所への入退館記録と業務用PC使用記録を併用して勤務実態を推定し、長時間勤務が懸念される場合はアラートを発信する仕組みを導入しました
- ⑤ 合併前の2社の事業所(都内は千代田区と豊島区)は、全社員がサテライトとして利用できる。その他、グループ会社の事業所も含めて都内5ヶ所のオフィスをサテライトとして利用できます
- ⑥ 在宅勤務のみで勤務が完結する在宅社員制度があります(旧アスクレップ制度を継承)

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- WLBの向上
働き方のフレキシビリティが高まり、社員が趣味やボランティア活動等に割ける時間も増え、生活全体のメリハリが出てきたようです。広範な興味関心や、意欲向上につながり、WLBは向上していると認識しています(従業員満足度調査で追跡調査中)
- 優秀人材の確保
在宅社員制度により、首都圏では確保が難しくなっている医療系専門職を、地方都市で確保できています。今後、家庭事情で離職した元社員にも声をかける予定です。また、新卒者向けの会社説明会等でも肯定的な受け止めが多いと考えています
- オフィス機能の最適化
オフィス検討においては、これまでの、人員増に応じた勤務場所の確保という観点だけでなく、より広い視野でのオフィス機能の最適化が可能になると考えています